

ウクライナ支援チャリティー晩餐会が開催されました!!

令和4年6月19日（日）、ホテルオークラ福岡において、ウクライナ支援チャリティー晩餐会『**食の博多舞**』が開催されました。

今回のチャリティー晩餐会は、売上金の一部をウクライナ及び近隣の国から避難している人々への食糧支援に寄付するために、「博多食文化の会」の皆さんが企画されたものです。



主催者である「博多食文化の会」の吉田安政シェフ（メゾンドヨシダ）は、次のように挨拶されました。

本日は330名の方にお集まりいただきました。3ヶ月前に、料理人で、「ウクライナ支援をしよう」というのが始まりです。

「**ウクライナ頑張ろう 命を大切に 世界の平和を願って**」素敵な仲間が集まっていただきました。料理は、「**動物を殺して活かす。殺したものは、喜びを与える。**」ということです。**私は、ワンヘルスに関わりを持っていきたいと思います。**

服部誠太郎福岡県知事は、次のように挨拶されました。

「博多食文化の会」の皆様、戦火に苦しむウクライナの人々を支援しようとチャリティー晩餐会『食の博多舞』を企画されました。深く敬意を表し、感謝申し上げます。

多くの市民が、女性も子供も高齢者も、戦火に倒れ、傷つき、そして避難民となる。このような状況がなお続いている訳であります。**戦争は最大の人権侵害であり、これを認めるわけにはいきません。**

福岡県としても、3月からウクライナの人々に対する人道的な支援を行うための救済金の募集を開始しています。今日の収益金の一部を救済金にご寄付いただけるということで、本当に感謝申し上げます。

「博多食文化の会」の皆様方にお礼を申し上げたい。それは、この会「チャリティー晩餐会」のポスターやチラシにワンヘルスのロゴを入れてもらっていることです。

ワンヘルスとは、人の健康と動物の健康そして環境の健全性、この3つを一つと捉えて守っていこうとするものでありまして、今我々が苦しめられています COVID-19、新型コロナウイルスもサーズもマーズも、**動物由来の感染症**であります。こういったものに対抗していくためには、ワンヘルスという考え方が極めて重要であります。

私の県政を進めるうえでのチャレンジの一つとして、**「福岡県をワンヘルスの世界的な先進地に押し上げていく」**、このことを掲げています。



藏内勇夫日本獣医師会会長（福岡ワンヘルス協議会会長）は、次のように挨拶されました。

今回、吉田さんはウクライナに心を痛めて、チャリティーのようなことをやりたい、ということでありましたので、「ぜひ我々も一緒にやりましょう。」ということで、服部知事にもお願いし、出席をしていただきました。

ワンヘルスは福岡県が世界の最先端です。福岡県がスタートしました。

まず、日本獣医師会は、「人と動物の健康はひとつ。それは地球の願い。」ということ活動を活動指針としてワンヘルス活動を推進しています。

この運動の中に、最近、岸田総理が「**感染症危機管理庁**」を作ると打ち出されました。これは、まさしく感染症対策、ワンヘルスであります。そして、アジア地区にこの運動の輪を広げよう。アジアにワンヘルスを広げようということで、このFAVA大会を11月に福岡で開催することになりました。

私は、このような運動を通じて、**福岡がもっともっと元気で、県民の皆様が健康で過ごしていただければいい**と思っております。

2022年6月20日

福岡ワンヘルス協議会・事務局